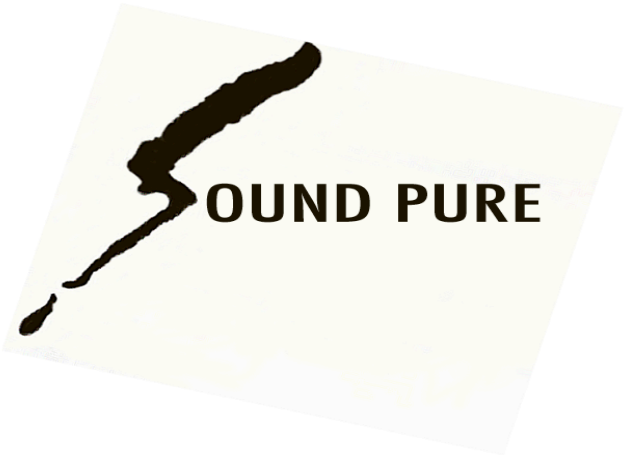


8033

8000 シリーズ

商品特長

1　インテリジェント ID 技術を持ち。デジタルアナログ混合伝送により、デジタルなしの音波伝送からなるタイムラグを防止

2　マイクロホンの電波出力調整可能使用場所に対応特に
　カラオケボックス

3　赤外線リアルタイム技術を採用し、マイクロホン調整が簡単、便利

4　UHF 無線マイクロホン専用周波数帯を採用し、他の電波障害を防止

5　１２００MHz 任意調整可能(免許無し 806ー810MHz)

6　超音波データによる周波数コントロール可能、他の電波障害及び器械の開閉による障害音を防止

7　マイクロホン 1.5V の単３形乾電池２個のバッテリーの提供､バッテリー購入が便利

8　バランス出力アンバランス出力の特性を持ち、各種の音響設備の接続に便利

9　マイクロホンが人間の視覚特性に合わせ､低電力の赤外線信号を出力。

10 受信機に二系列のチューナー搭載

11 受信機がマイクロホンの信号パラメータを受信、管理に便利

目次

1 受信機の機能

2 マイクロホン（発信機）

3 システムの設定

4 注意事項

5 故障について

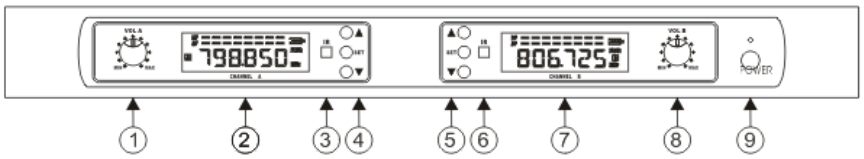
6 セット内用

7 規格

8 安全上の注意

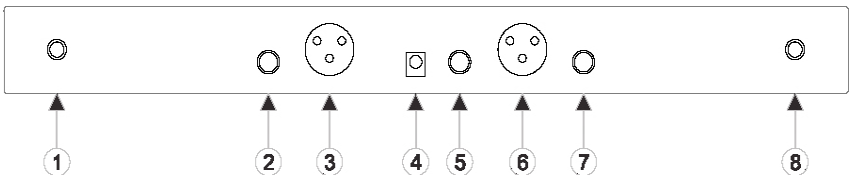
1 受信機の機能 フロントパネル

① 左側ボリューム
② 左側 LCD ディスプレイ
③ 左側赤外線リアルタイム窓
④ 左側操作キー
⑤ 右側操作キー
⑥ 右側赤外線リアルタイム窓
⑦ 右側 LCD ディスプレイ
⑧ 右側ボリューム
⑨ 電源スイッチ



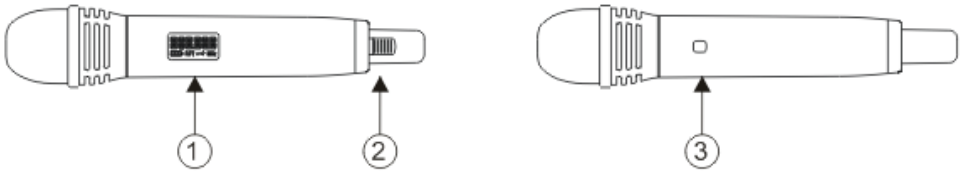
リアパネル

① 右側アンテナ端子
② 右側アンバランス出力
③ 右側 XLR バランス出力
④ 電源アダプターコンセント
⑤ 混合アンバランス出力
⑥ 左側 XLR バランス出力
⑦ 左側アンバランス出力
⑧ 左側アンテナ端子



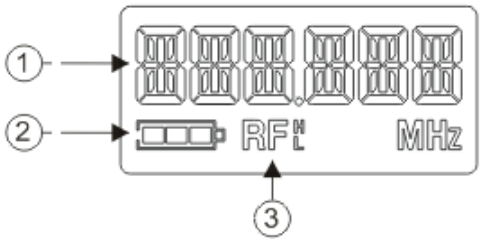
2 マイクロホン（発信機）

① 液晶表示パネルです、各種情報を表示します。
② 電源スイッチです、マイクロホンをオンにした際、指示パネルが 4 秒間点灯します。
③ 赤外線リアルタイムレンズです、赤外線リアルタイムレンズが受信機から送られたリアルタイムデータを受信しデーター交換をします。リアルタイム機能を使用する際一台ずつ行ってください。



マイクロホンのディスプレイ

① 周波数表示部分
② バッテリ容量表示
③ 受信送信距離表示　RF H は長距離　RF L は短距離(カラオケボックス等マイクを近くで沢山使用する場合のセッティングです、電波の混信を防ぎ電池の消耗を防ぎます。)



ディスプレイ部

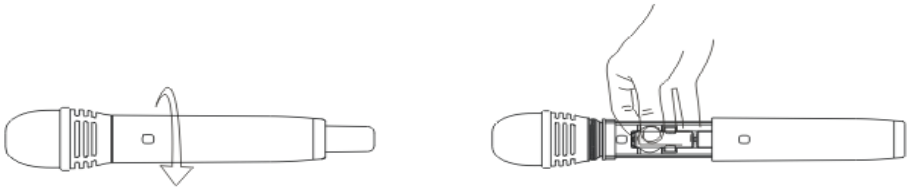
1、周波数表示

2、BAT バッテリ容量表示

電池の交換

マイクヘッドを持ちボディを矢印の方向へ回し手下さい。
本体カバーを下の方へ引くと電池ボックスが現れます。

電池はアルカリ又はそれ以上の品質の物をご使用ください。消費時間は約 8 時間前後です。具体的な時間は御使用環境によります。マイク電源のパイロットランプが点滅したらできるだけ早く電池を交換してください。製品の特性上降る事もあり、電池ボックスのスプリングは固めに作っています。下記の図の様にマイナス側へ押さえ込みセットしてください。

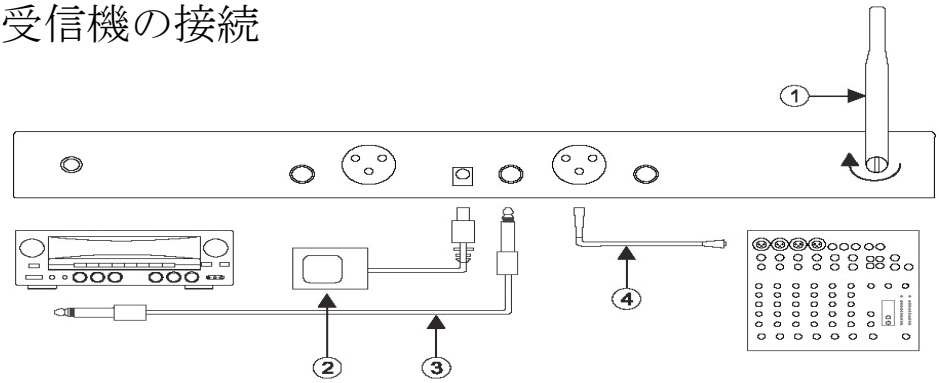


電池交換は＋−を間違えないようにしてください。

電池は上の段から一つずつ滑らす様に入れてください。

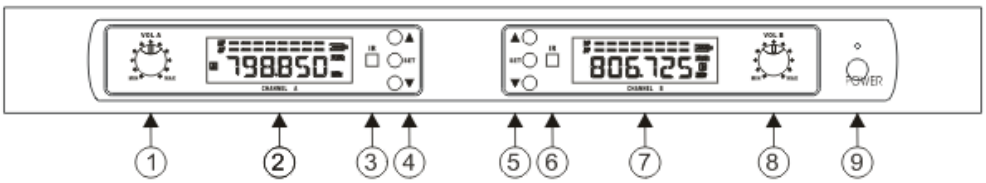
マイクは精密な部分品からなるシステムです、激しい衝撃等には注意してください。

3 受信機の接続



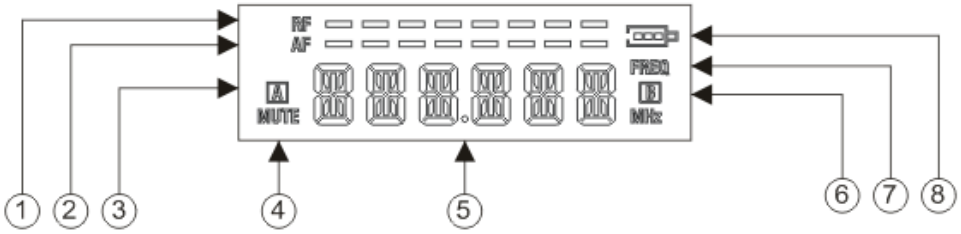
① アンテナをアンテナのプラグ①にさして、プラグを右へ回して固定してください。アンテナの角度は 90 度ぐらいが適当です。
②電源アダプターのプラグを差しこみます。
③ A B チャンネル同時出力プラグです。
④左右 XLR その他の音響の設備との XLR 入力との接続に使用します。

受信機の起動



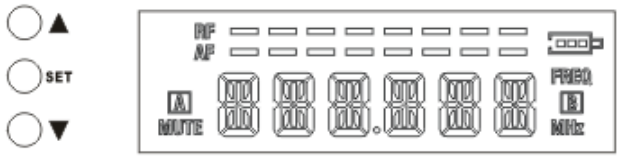
⑨電源 ON OFF
⑨電源キーを 4 秒押し、液晶面に UHF ID が表示されます、1 秒後に周波数が表示され電源 ON 状態になります。
⑨の電源キーを押し、液晶面に IDSYSOFF が表示されます、1 秒後に電源 OFF 状態になります。
(長時間使用しない場合は、電源のアダプターをコンセントから外していてください。)

液晶画面の説明



１電波状況を表示します。(遠距離 RF 点灯、近距離 RF 点滅)
２マイクの入力感度を指示します
３アンテナ A で受信指示
４消音の指示　(電源 ON OFF)
５周波数表示
６アンテナ B で受信指示
７周波数の設定を指示する
８マイクの電池の残量を表示します。(電池マークの点滅は電池の交換時を表します。)

周波数の変更設定



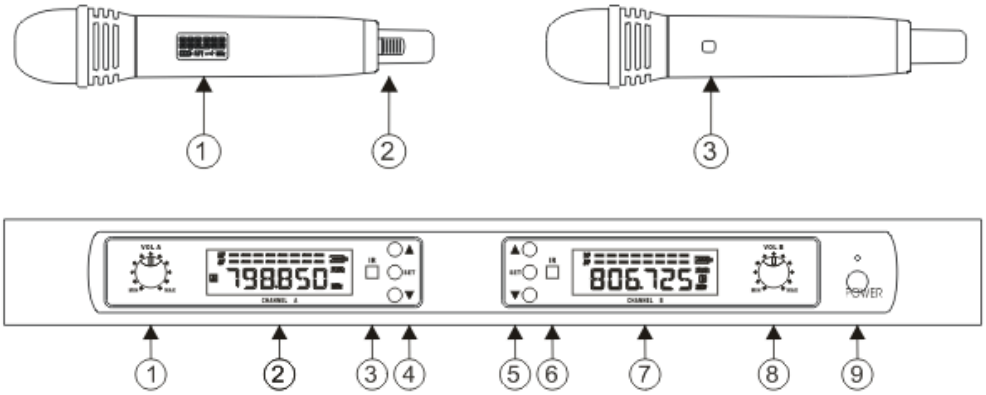
A、B チャンネルとも操作方法は同じです。

1　受信機の SET ボタンを 1 回押すと TUNECH が表示されます。
　1 秒後に表示の周波数、FREQ が点滅します。
2　UP ,DN ボタンでボタンで周波数の増加減少調整。
　ボタンから指を離すと 1 秒後に自動セットされます。

*まとめ
1 SET1 回、2 矢印回 UP,DN ボタン、
　3 ボタンから指を離す受信機のセットは終わりです。
注意 免許の無い方は電波法違反になりますので周波数は必ず 806～810MHz 内でご使用下さい。

マイクの周波数設定

続けてマイクと受信機の周波数をあわせます。
マイクの電源を入れ図3のレンズ部をまっすぐに受信機の図3と6の赤外線センサーへ向け(1m以内)、セットしたいA又はBチャンネルのUPを1回押します。
自動で赤外線シンクロナイズ機能によりセッティングが始まります。
1m以内



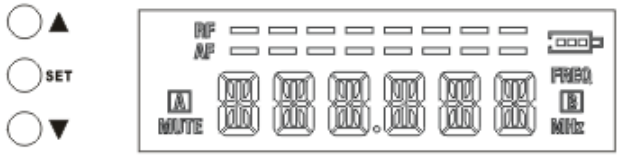
受信機の表示はSYNRQを表示し、つぎにSYNEDを表示し完了です。(約3秒間で完了です。)当システムは赤外線のシンクロナイズ機能を使って、受信機とマイクの情報交換をします。
注意　AとBの受信システムは下記の表を参考にセットしてください、
*まとめ1　黒いレンズ部を受信機の赤外線センサーへ向ける、2矢印回UPボタンを1回押す。

B1 グループ	B2 グループ	B3 グループ	B4 グループ	B5 グループ	B6 グループ
B11 806.125	B21 806.250	B31 806.625	B41 806.750	B51 807.625	B61 807.250
B12 806.375	B22 806.500	B32 806.875	B42 807.500	B52 808.125	
B13 807.125	B23 807.000	B33 807.375	B43 808.000	B53 808.375	
B14 807.750	B24 807.870	B34 808.250	B44 809.125	B54 808.750	
B15 809.000	B25 808.500	B35 808.625	B45 809.375	B55 809.625	
B16 809.500	B26 808.875	B36 809.250	B46 809.750		

長距離受信と短距離受信RFの設定（カラオケボックス等のセッティング）

A、Bチャンネルとも操作方法は同じです。多くのマイクを近くで使用する場合、電波の干渉を防ぐため下記のセッティングをご使用ください。周波数チャンネルのセッティング後、送信機のセット

1　SETを2回おす、SET RFが表示され自動でRF NOR(長距離)出荷時が表示されます。
2　受信距離を短くする場合は右左DN UPどちらでもの矢印を一回押しRF ON(短距離)を表示させSETを一回押す。



*まとめ1　SET2回、2　矢印一回、3　SET1回で受信機のセットは終わりです。

2 続けてマイクと受信機のRFをあわせます。マイクの電源を入れレンズ部を受信機の③⑥赤外線センサーへ向け(1m以内)、
セットしたいA又はBチャンネルのUPを1回押す。
自動で赤外線シンクロナイズ機能によりセッティングが始まります。

最後に受信機の液晶左上の RF が点滅していれば、短距離受信のセットが完了です。

RF NOR(長距離)に戻す場合は
受信機のセット

1　SETを2回おしSET RFが表示され自動でRF ON(短距離)が表示されます。
2　受信距離を長くする場合は右左DN UPどちらでもの矢印を一回押しRF NOR(長距離)を表示させSETを一回押す。
3　続けてマイクと受信機のRFをあわせます。マイクの電源を入れ電池カバーを回して外し下の黒いレンズ部をまっすぐに受信機の⑤赤外線センサーへ向け(1m以内)、セットしたいA又はBチャンネルのUPを1回押す。自動で赤外線シンクロナイズ機能によりセッティングが始まります。
4　最後に受信機の液晶左上のRFが静止点灯していれば、長距離受信(出荷時)のセットが完了です。注意*長距時の受信は1波のみ安定、片側のマイクの電源を切ってご使用ください。

*2波同時使用は約最長50m位まで。(状況による)

4 注意事項

- RF 設定(長距離 RF 点灯､短距離 RF 点滅)　A､Bチャンネルとも RF は同じセッティングでご使用ください。

- (電波干渉を防ぐために)音の途切れ等ある場合は A/B のチャンネルを
  前記の周波数グループ表に従いセットしてみてください。
- 電灯,蛍光灯,PC,CD,DVD 電源タップ等の電気機器の側での受信はノイズを受けやすくなる場合があります、
  電磁波の少ない環境をお選びください。
- コードによりノイズ干渉等の対象となる場合があります、接続はアンバランスコード(ホーン)バ
  ランスコード(XLR)等の接続を変えて干渉の少ない物をお選びください。
- 地域によりまれに電波干渉がある場合、前記の周波数グループ表に従いセットしてみてください。
- 接続する機器によりピンクノイズ等の発生がある場合は対策として、ミキサーのゲイン及びイコライジン
  グ等で対処してください。
- 受信機の接続は必ずファンタム電源は使用しないでください。故障の原因となります。

- 安定受信距離は受信機から半径30 m以内（屋外の場合50 m以内状況による1波のみ安定）がワイヤレスマイク
  の使用可能な目安としてください。
- ワイヤレスマイクの使用範囲から見通せる位置に人の背の高さより上の位置で受信機を設置してください。
- 鉄骨やロッカーなどの金属物の近くを避け、壁面から30 cm以上離して設置し、
  障害物（例：コンクリート壁、金属製構造物など）がない環境で使用してください。

- ワイヤレスマイクと受信機を近づけ過ぎると、誤動作や雑音を発生する恐れがあります。
  ワイヤレスマイクと受信機の距離は、2m＊以上離してください。
  ＊RF等 ワイヤレスマイクの送受信出力の設定や受信機の設置場所などの条件により異なります。

- ワイヤレスマイク同士は、常に20cm以上離れていることを確認してください。
- 体や手などの人体にワイヤレスマイクロホンのアンテナが直接触れないようにしてください。
  アンテナが人体に触れていると通信範囲が縮小します。
- 暖房器具等の熱の出る器具の側に設置しないでください。
- 強いハウリングや衝撃を感知した場合リミッター機能が働きこもった音になる場合があります。
  電源を入れ直すか、軽いハウリングや時間を置いて御使用してください。

- 長距時の受信は 1 波のみ安定、片側のマイクの電源を切ってご使用ください。
  2 波同時使用は約最長 30m 以内まで。(状況による)
  電波環境も夫々環境がありますので、入りにくい等ございましたら
  人の頭の高さよりチューナーアンテナを高く設置したり、使用マイクの近くに
  チューナーを設置してください。

注意 免許の無い方は電波法違反になりますので周波数は必ず **806～810MHz** 内でご使用下さい。

5 故障かと思った時は

故障の症状	デスプレィの状態	解決方法
音が出ない	マイクの電源は入っています。 受信機の電源は入っています。	*マイクと受信機の赤外線シンクロナイズを行いセットし直す。 *接続器具及びコード等を点検します。 *電源を入れ直す。
	受信機の電源は入っていません。	電源コードとアダプターを点検します。
	マイクの電源が入らない。又は赤い点滅をしている	*電池を替えます *電池は正しく入っていますか。
	受信機の電池マーク表示	*受信機の音量を調整してください。
突然雑音が出る ノイズが出る	受信機の MUTE が時々点灯する	*電磁波の影響を受けている（DVD, CD, コンピュータなど） *A,B チャンネルの違う周波数グループ表に従いセットし直す。
音声がザラツく ノイズが出る	マイクの赤信号が点滅	*マイクの電池を替えます
	受信機の電池マーク表示	*受信機の音量を調整します *A,B チャンネル違う周波数グループ表に従いセットし直す。
受信機とマイクが離れると音声が途切れる ノイズが出る	受信機の RF が点滅 A.B のアンテナマークが不安定	*受信機の RF を RF NOR(長距離)モードに設定してください *長距離状況による 1 波のみ安定、片側のマイクの電源を切る。 *2 波同時使用は最長 50m 位まで(状況による)受信機を出来るだけ近ずけて使用する。

明らかに故障と視られる時は

マイクは 2 本とも同じ物です。
一つのチャンネルで、一台ずつマイクをセットしテストしてみてください。
マイクが故障している場合は A,B チャンネルとも同じマイクが異常を示します。

受信機の故障も A,B チャンネルとも同じ周波数にして一台ずつマイクをセットしテストしてみてください
同じ受信チャンネルで障害が視られましたらシステム異常が考えられますので
販売店にご連絡ください。

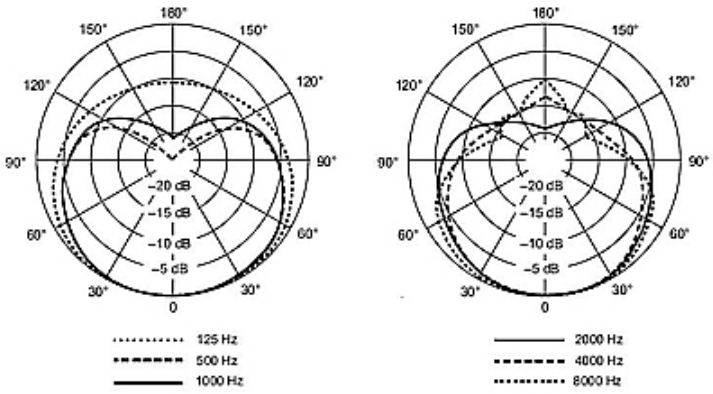
6 セット内用

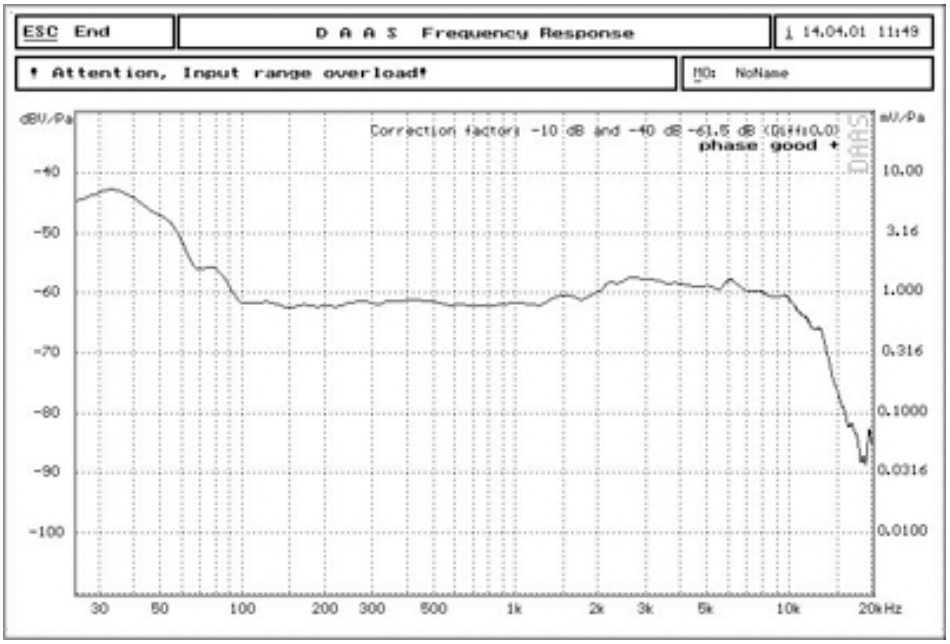
１、 受信機１台
２、 マイク２本
３、 オーディオシールド１本
４、 電源のアダプター
５、 アンテナ２本
６、　説明書

7 システム規格

受信距離	約最長 100 m(使用環境による１波)
無線周波数帯	720 ― 820MHz
方式：	PLL シンセサイザー方式
RF バンドワイズ	30MHz
オーディオ歪み率：	+/-5ppm＜10Hz
周波数チャンネル数	1200 チャンネル
使用温度範囲：	-18℃+50℃
周波数特性：	50Hz～15KHz
受信機仕様	
ＳＮ比	＞105dB　A 計権力
感度レベル：	-105dBm(20dBSINAD)
THD	(THD≦0.5%、1kHz)
表示の方式	LCD
オーディオの出力方式	バランス XLR/ ２系統　アンバランス/3 系統（出力混合 1）
混合ダイバシティチューナー	
赤外線通信：	範囲最大 1m
消費電力：	約400mA（12 V～15V DC）
寸法：	幅420mm × 高42 mm ×奥 215 mm
質量：	2,0 kg
マイク仕様	
ダイナミックレンジ	＞100Db
指向特性	指向性
peak Deviation	25kHz
ハーモニック	-45dBc
出力	10dBm
オーディオゲイン	10db
表示の方式	LCD
消費電力	約 150mA　3V
電源	単三 1.5V×2 本
電池持続時間	約８時間　電池、使用環境による
寸法：	長240mm × ヘッド直径47 mm ×グリップ直径 37 mm
重量：	0.344kg

ハンドマイクヘッド゛の仕様





8安全上のご注意

● ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。
ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う

可能性が想定される内容を示しています。

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
● 煙が出ている、変なにおいがするとき
● 内部に水や異物が入ったとき
● 落としたり、ケースを破損したとき
● 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
● 音が出ないとき

●液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグやアンテナ線にはさわらないでください。
感電の原因となります。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う

可能性が想定される内容を示しています。

医療機器の近くで使用しない

電磁波で医療機器に影響を与えることがあります。
本機の電源を必ず切ってください。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想

定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、
油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

工事は専門店に相談する

アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、専門工事店にご相談ください。
適切な工事を行わないと、アンテナが倒れて、感電・けがの原因とな
ることがあります。

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがありま
す。

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因
となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため
電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

注意誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電池の液もれに注意する

半月以上使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
電池から液がもれて、火災・けが・周囲汚損の原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となるこがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- （＋）と（ー）に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

動作保証

お買い上げ日　　年　　月　　日

本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間到着後一ヶ月間内に取扱説明書・注意書に従った正常な使用状態で使用していて故障が生じた場合、本証書の記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたします。

必ず説明書をよくお読みください。

(配送費は佐川急便のみ当社負担致します。ただし説明書に従って正当な取り扱いをしている場合のみで、改造や破損等は保証できません。修理対応致になります。)

お問い合わせ先　〒808-0055　福岡県北九州市若松区畑谷町 20-22

サウンドピュア

担当 坂井　soundpure@iwk.bbiq.jp　090-8398-5918